

令和2年度第1回区政会議での意見と対応一覧

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
議 題 1 令 和 元 年 度 此 花 区 運 営 方 針 の 実 績 ・ 評 価 及 び 令 和 2 年 度 此 花 区 運 営 方	1 ・【防犯】について、 去年公園に防犯カメラ付きの自販機を置く話があったが進捗は。 A E D付きの自動販売機を設置いただいても良いと思うがどうか。 A E Dは屋外では設置できないのか。	岩井委員 岡田委員	〔危機管理担当 原課長〕 ・区役所には今年業者に防犯カメラ付きの自動販売機を置いていただいた。公園についても管理をしている建設局が2年前に募集したが業者の手が上がらなかった。最短で今年の12月くらいに再募集すると建設局から聞いている。 〔齋藤副区長〕 (建設局の)公園部局で自動販売機と防犯カメラをあわせて募集をしているが、A E Dをつけると高額になってしまうので、募集にのっていただけないと考えられる。A E Dは区役所や区民ホールなど公共施設的なところはほとんど、色々なところにおいてあるのでお気づきいただきたい。 A E Dは屋外では保証をしていただくことが難しい。	・防犯カメラ付き自動販売機について、建設局公園緑化部が再度対象公園の見直し、地域との調整を行い、年内に再募集、年度内の設置を予定している。	市民協働課 (危機管理)
	2 ・【防犯】について、 青パトに乗務するにあたり講習は何か考えがあるのか	山本委員	〔危機管理担当 原課長〕 ・青パトに乗っていただくには警察署による講習を受けていただいて、パトロール実施者証というものをもらっていただくことで乗務することができるようになる。	・青色防犯パトロール活動を希望する団体には、此花警察と連携して講習会を開催しています。令和2年度は10月9日に恩貴島地域で開催した。	市民協働課 (危機管理)
	3 ・【防犯】について 交差点での自動車事故によって子どもが巻き込まれた事件について対策は考えているのか	山本委員	〔危機管理担当 原課長〕 ・警察と連携して、対策というか研修を含めて考えていきたい。	・此花警察署と連携し、区内小学校児童を対象とした交通安全教室を実施している。今年度についてはコロナ禍で開催が遅れていたが、10月に梅香小学校、四貫島小学校で開催した。 ・また、今年度新たに策定された「大阪市通学路安全プログラム」に基づき、順次小学校を選定し警察、建設局工営所、地域で合同点検を実施し、通学路の安全確保を進めていく。	市民協働課 (危機管理)
	4 ・【福祉】について こどもサポートネットについて、相談員等は区役所に常駐しているのか。 常駐は1名ずつか。 民生委員や主任児童委員との連携はどう考えているのか。	浦野委員	〔保健福祉課 清原課長〕 ・こどもサポートネットの推進員が2名とスクールソーシャルワーカーは、それぞれ週4の出勤でほぼ常駐しているというよい状態である。 ・民生委員等との連携については、スクーリングⅡ会議において、学校やスクールソーシャルワーカーや推進員で課題の整理を行い、地域での見守りが必要と判断した場合について、今後の会議への参加を依頼し、情報共有を行いながら、継続した連携をお願いしたいと考えている。	・こどもサポートネット推進員やスクールソーシャルワーカーなど子育て支援室に籍を置く職員が増えてきているので、それぞれの専門性を活かしつつ、相談内容の記録を共有するなど情報共有をしっかりと行い、切れ目のない支援ができるようにしていく。	保健福祉課 (地域福祉)
	5 ・【福祉】について こどもサポートネットの推進があつくされているが、高齢者の見守り隊事業の内容が薄く思われる。対策面などおききたい。 高齢者が増えていくので内容をまた検討してもらいたい。	岡田委員	〔保健福祉課 清原課長〕 ・地域見守り隊は平成25年から継続している事業である程度定着しているのに対し、こどもサポートネットは平成30年開始の事業で、比較的新しいことから説明があつくなくなった。高齢者対策を軽んじているわけではない。 ・(高齢者対策については)反省して次回の資料に活かしていきたい。	・見守りや虐待対応のほか介護保険業務等について、社会福祉協議会や民生委員、地域包括支援センター等と協力して、引き続き高齢者福祉の増進に努めていく。 ・施策を説明する場合には、区民の関心事に注意し丁寧に実施する。	保健福祉課 (地域福祉)
	6 ・【健康】について コロナウイルスの対策について、これから秋・冬になると風邪も流行ってくる。 此花区医師会と先と考えていることがあるのか P C R検査も近くの病院ではできない中対策はあるのか	岡田委員	〔保健担当 西山課長〕 ・マスクをするなどの対策はとる。 ・此花区医師会ともできるだけ情報共有しながら連絡を取っていきたい。 ・P C R検査も普通の病院でできるわけではない。 ・具体的な対策については難しいが医師会の方に医療用マスクやガウンを届けて対応いただくなど実施している。	・大阪府の方針として、これからの季節性インフルエンザの流行時期を迎えるにあたり、ピーク時には検査件数が約20,000件になる見通しから、新型コロナウイルスの診療・検査体制の整備が行われることになっている。	保健福祉課 (保健)

針 の 取 組 み に つ い て	7	・【健康】について どこかで（コロナ患者が）出たってなったときに教えてもらえるのか。	河上委員	〔保健担当 西山課長〕 ・コロナ患者が出たという情報は個人情報でもあるので、大阪府が発表している以上の情報はお出しできない。 ・コロナウイルスの対応・予防策についての情報は、お答えできる。 ・実際に患者が出た際には、保健所・区役所対応をしていくが、その情報は伝えられない。	・コロナ患者の状況については、大阪府及び大阪市ホームページで発表されているもの以外の情報はお答えできない。	保健福祉課 (保健)
	8	・成人式について ユニバーサルスタジオで成人式をする案があったがどうなったか。	田中(和)委員	〔教育支援環境担当 榊原課長〕 ・過去にそうした経過があることは聞いている。本年については、すでに成人式の計画を立てているので、直ちに今年度の実施は難しい。 ・成人式は実行委員会形式でやっているの、実行委員会の意見を聞きながら、ご希望についての取りまとめが必要と考える。 〔高橋区長〕 ・実行委員会というかたちで、区役所も参加し、各種団体も参加いただいて、皆様の意見、あるいは負担ということをやっている。 ・USJでの実施となると区役所も含め実行委員会として、費用負担をどうするかなど調整が必要となってくる。	・実行委員会の意見を聞きながら検討、調整を進める。	市民協働課 (教育支援・環境)

【ご意見シート】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
9	・今一番やることは、此花区のコロナ対策、又区内で罹った方が出たら、地域だけでも住民に知らせるべきと思う。	岩井委員		・新型コロナウイルス対応につきましては、国や大阪府、大阪市の指針等に沿って、3密を避ける、マスク着用、手洗いの徹底などのお願いしている。なお、患者に関する情報につきましては、個人情報保護の観点から、大阪府が発表する情報以外はお答えできない。	保健福祉課 (保健)
10	・各地域で行っている「子ども見守り活動」の参加者が非常に高齢化し、少なくなってきたと思う。今一度、活動が始まった経緯・意義（保護者の中にはこの活動が始まった経緯・意義知らない人がおられる）を地域住民にお知らせをして、参加者の募集をして頂くようお願いします。	岩井委員		・老人クラブ・PTA・地域団体・企業の皆さんが雨の日も暑い日も登下校の安全を見守っていただいている「こども見守り隊」について、区役所では広報紙やホームページ、ツイッターでその活動を紹介している。引き続き、活動内容を区民の皆さまに周知するとともに担い手の募集の協力を努める。	市民協働課 (危機管理)
11	・正蓮寺川公園のバラベットの全面撤去が始まりましたが、全面撤去をお願い致します。バラベットがあるため公園の中が見えない。防犯上問題（助けを求めている。また、トラブルが起こっている時、場合によっては遠回りする必要がある）である。又、住民が公園にどこからでも入れる事がベストである。一部では、中から道路が見えない、飛び出し等で交通事故に遭う。	岩井委員		・バラベットの全面撤去については、河川管理者の大阪府から今すぐにバラベットを河川管理者で撤去することは難しい状況なので、点検その他含めて維持管理については、できる限りきちんとしてまいりたい。また、現状では、正蓮寺川公園の森巢橋下流部については、貯留機能の河川としての機能もあり、下流部での具体的なバラベットの撤去はこれからの検討と考えていると聞いている。 バラベットの全面撤去についてのご意見につきましては、河川管理者の大阪府へお伝えしていく。 ・正蓮寺川公園の安全確保のため、建設局と連携し防犯カメラの設置を進める。	企画総務課 (総合調整) 市民協働課 (危機管理)
12	・防災で、自衛隊との連携による津波避難行動の標準化とは、具体的にどう考えているのか。	岩井委員		・自衛隊と地域の連携を強め、津波到来前・到来後等、避難行動の際にどのように動くべきか等、自衛隊の持つノウハウを地域の皆様に伝えていただくことを想定していたが、コロナ禍に伴い自衛隊と予定していたイベント等が中止となり、取り組みも延期となっている。	市民協働課 (危機管理)

13	<p>・西島地域が津波で浸水すれば西島小学校が避難場所として使えないので、元此花総合高校公舎が地震で倒壊しなければ避難場所として使用できるようにとはからって頂きたい。</p>	岩井委員		<p>・2度目の地震が本震であった熊本地震の例もあり、最初の地震で建物が無事であった場合でも余震を考慮すると耐震化未了の建物に避難することは適切ではない。</p> <p>・一方、熊本地震では指定避難所だけでなく結果的に被災者が集まっているところも実質的な避難所として取り扱う必要があったことから、それらの対応についての検討を進める。</p>	市民協働課 (危機管理)
14	<p>令和2年度 取組計画の新規として、「学校配置の適正化の検討」を挙げられているが、少子化が進む中で、統廃合は避けられない流れかもしれないが、小学校を拠点とした地域の連帯の輪を如何に保持していくのか、という検討も同時にしておいてもらいたい。また、コロナ禍の中で、3密解消と同時に、ゆきとどいた教育という観点からも、統廃合の方向ではなく、1クラスの少人数化の検討も必要ではないかと思う。</p>	浦野委員		<p>・学校配置の適正化につきましては、改正された学校活性化条例の基準に基づき、児童数の推移を見ながら、子ども達のよりよい教育環境や教育内容が充実され、また、一人ひとり行き届く教育環境を作るためにどういった方策が最善か、地域の住民の皆様や保護者の皆様のご意見を聴きながら進めていくものである。学校が地域のコミュニティの拠点であり「まちづくり」の観点を併せ持っていることも十分認識し慎重に検討していく必要がある。</p>	市民協働課 (教育支援・環境)
15	<p>・大阪工業大学によるまちづくりの提案は、安全・安心・快適で防災に対応したまちづくりに向けてすばらしいことではあるが、どの部分をどのような計画で具体化（実現化）していくのかの検討がなされなければ、絵に描いた餅となり、経費の無駄になってしまう。</p>	浦野委員		<p>・未来のこのはなまちづくり事業の正蓮寺川を軸としたまちづくりの提案については、今後の此花区の地域コミュニティ活性化を目指し、正蓮寺川公園を軸としたハードウェア面でのまちづくりを議論・検討していくために都市計画等を専門に学ぶ大学生から、その将来像・理想像の提案を求めることを目的としている。</p> <p>・将来像・理想像であることから具体化に向けての計画はございませんが、実際に区内で進む事業の端緒で、ハードウェア面でのまちづくりを検討していくアイデアとして活用している。</p> <p>・具体的には市営木場住宅周辺のまちづくりについて提案があったことから、実際に建替え計画が具体化してきたときに、まちづくりを再検討する契機となった事例がある。</p>	企画総務課 (総合調整)
16	<p>・正蓮寺川公園化に関する件 公園化にすることについて反対ではない事を先に申し上げておきます。 島屋連合は、正蓮寺川の西端に排水ポンプ場が建設される設計段階で、避難所のスペースを確保してほしいとの要望を出し、結果2400㎡の避難スペースを確保する事が出来ました。正蓮寺川公園化を若干変更して一部、運動場として活用し災害時にはテント避難所に変更できるような設計変更にはできないか？ご検討願います。</p>	大山委員		<p>・正蓮寺川公園の島屋地域付近の公園基本計画平面図では、ふるさと生き物ゾーンとして整備素案が示されている。</p> <p>・ご意見につきましては、正蓮寺川公園の整備を担当しています建設局にお伝えしていく。</p>	企画総務課 (総合調整)
17	<p>・事前の説明と資料を頂いているので当日は、パワーポイントの画面プリントを頂ければより解りやすいのではと思います。 (スクリーンが見にくかった)</p>	奥田委員		<p>・パワーポイントについては、説明の要点をまとめたものを表示しておりました。そのため配布する資料に含めていない。</p> <p>・今回コロナ感染症対策として、会場が広くなり、プロジェクターを用いた表示を2か所にする等対策をとったが、いただいたご意見をふまえて、画面の配置を変更するなど改善を図っていく。</p>	企画総務課 (総合調整)
18	<p>・コロナウイルスの感染防止からマスク着用は仕方ありませんが、マスク越しの説明のため聞きづらかった。マスクの性能もありますがもう少し言葉を明瞭に、また個々の量にマイクのボリュームを調整していただきたい。</p>	小林委員		<p>・マスクをしながらの説明・発言のため、お聞き苦しいことがあり申し訳ありませんでした。今回の反省を活かし、ボリュームを上げるなど、参加者のみなさまがはっきりと聞こえるように改善を図る。</p>	企画総務課 (総合調整)

19	・議題を絞っての討議については理解できるが今回コロナの影響が諸施策に出ているはずでこれらの視点にあった方策がもっと討議されるべきではなかったか。通常通りの説明ですみがかかりました。	中村委員		・区政会議が限られた時間であることからテーマをしぼって意見交換をさせていただいた。そうした中、討議される内容を十分と感じていただけなかったことについて申し訳ありませんでした。 ・説明について、委員のみなさまに一層ご理解いただけるよう改善を図っていくとともに、より様々な意見をいただけるよう、運営をすすめていきますのでよろしくをお願いします。	企画総務課 (総合調整)
20	・説明者のマイクの調整が悪いのか内容が聞きとれにくい (後半の議員さんの使用マイクは良く聞こえた。	南部委員		・マスクをしながらの説明・発言のため、お聞き苦しいことがあり申し訳ありません。今回の反省を活かし、ボリュームを上げるなど、参加者のみなさまがはっきりと聞こえるように改善を図る。	企画総務課 (総合調整)
21	・説明時に写されたパワーポイントの内容の資料が手持ち資料に追加して欲しい、何を説明しているか分からない。	南部委員		・パワーポイントについては、説明の要点をまとめたものを表示しておりました。そのため配布する資料に含めていません。 ・いただいた意見をふまえて、参加者のみなさまに一層ご理解いただける説明をしていきたいと考えています。	企画総務課 (総合調整)
22	・今回の区政会議は防災を一番に話し合うべきだと思いました。 津波高潮だけではなく、昨年も今年も大雨で各地で甚大な被害が出ています。昨年は此花区でも大きな被害がでました。たとえ一時的に近くの避難ビルに出来ても、長引いた場合の移動をどうするのか？昨年43号線から大阪城への津波避難訓練へ参加しましたが、実際に高齢者、障がい者etcが避難可能なのか、特に今年はコロナで分散避難が必要となります、その辺をお聞きしたかったです。	山田委員		・海拔0m地帯の津波避難ビルに避難すると、1週間以上水がひかず、そのビルから出られない可能性がありますので、可能な限り0m以上またはそれに近い地域に移動できる場所への避難をお願いする。 ・高齢者・障がい者は長い距離を避難することが難しく、地域で助け合って最寄りの津波避難ビルへの避難を支援していただく必要があるので、日ごろからコミュニティ形成に努めていただくようお願いする。	市民協働課 (危機管理)
23	・見守りの中で、此花区にひとり住まいの高齢者がどのくらい居るか？という質問に「わからない」という答えがでていました「此花区民の何%くらい」との把握はしておいてほしいと思いました。	山田委員		・平成27年国勢調査における65歳以上のひとり暮らし高齢者の数は4,467人となっております。また、65歳以上のひとり暮らし高齢者の区の人口に対する割合は6.7%、区の世帯数に対する割合は14.5%となっている。(人口66,656人、世帯数30,712世帯)委員ご指摘のとおり、統計からみる此花区の状況を手元で把握しながら今後の業務にあたっていく。	保健福祉課 (地域福祉)
24	・青バトの稼働率とは？分母と分子はどのなの？	山本(哲)委員		・午後の実稼働日、平日の日数で算出している。	市民協働課 (危機管理)
25	・昨日の区政会議では、防犯、福祉、健康について目標取り組み実績、現状報告等聞かせて頂き区一丸となって努力されている様子に学ばせて頂きありがとうございます。 私の一番気になっているところで、今や地震、津波だけではなく大雨が降っただけで水害が発生しやすい状況です。私たちの地域(町会)には高層住宅がなく床上浸水になれば多くの人(250世帯)が避難できずに生命の危険にさらされることとなります。どのような対策を取ればいいのでしょうか？	米原委員		・水害時は可能な限り海拔0m以上の地域の避難ビルの上階に避難が必要。日頃から避難するビル等を確認しておいてもらいたい。 ・台風については、事前に被害の規模や避難が必要な時間帯がある程度想定可能ですので、公共交通機関が動いている間に、安全な場所の友人・親せき宅やホテル等への避難もご検討願いたい。	市民協働課 (危機管理)
26	・今回の会議において、成人式をユニバーサルスタジオでやってほしいという意見が出ましたが、そのためには、どのような手順が必要なのかを教えてください	渡邊(和)委員		・成人の日記念の集いの開催会場については、実行委員会において検討していただいている。今後も、実行委員会において実施内容を検討するにあたり、協力される団体や企業など、お祝いをする人々、お祝いをされる人々のご意見を聞きながら検討していく必要があると考える。	市民協働課 (教育支援・環境)

〔冒頭あいさつ〕

- ・区民の皆様と一緒に、また職員と一緒に、此花区の課題に正面から取り組んで、区民の皆様がそれぞれの夢と希望を叶えていく実現していく後押し応援をする区政を目指したい。
- ・新型コロナ対策について、感染者が増えている中、本日も間隔を十分に空け、アルコール消毒・検温など対策を講じて区政会議を開催していることをお断りさせていただく。
- ・本日は令和元年度の実績の振り返りと令和2年度の運営計画の2つのテーマでの会議をしてみたい。
- ・区としてのコロナ対策について報告させていただきたい。
- ・4月7日に緊急事態宣言を受けて此花区役所コロナウイルス感染症対策本部を設置し、区役所内で情報共有と意思決定を行った。待合スペースの間隔の確保、飛沫防止のビニールシートの設置、青色パトロールによる外出自粛呼びかけ、ホームページ・広報紙・広報板による広報活動を実施してきた。
- ・令和元年度運営方針について、目標を設定している中ほとんどの項目で目標を達成できたが、大地震の備え・環境活動の関心など未達成の項目あった。原因を分析して今年度取組につなげていく。
- ・区政会議についてテーマをしばって提案・議論させていただく。本日は防犯・福祉・健康。次回第2回で防災・子ども・まち作りハードウェアについて議論いただきたい。
- ・事前に委員の皆様が資料の説明をさせていただいたところ、ご意見・ご質問をいろいろいただいた。一番多かったものは防災。ほかにも正蓮寺川公園・子どもの通学路・担い手不足・成人式など多様な意見をいただいた。区役所含め行政の財源は限られた税ということで、できることに限界はあるが、ご意見を通して私たちに課題が見えてくることがポイントと考えています。いろんなご意見をいただいたことに御礼を申し上げる。
- ・本日の活発なご意見・ご議論をお願いしてあいさつとさせていただきます。